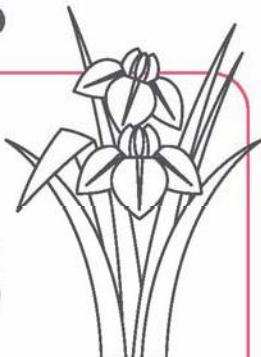
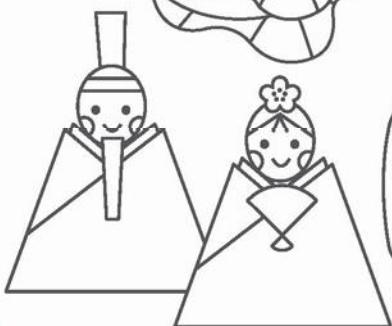
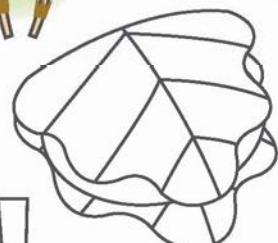


たのしいな きせつのおりょうり

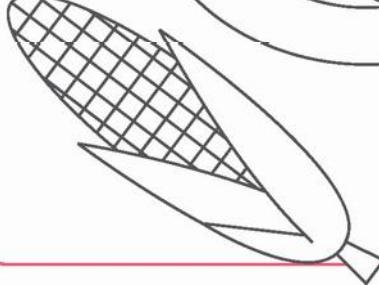
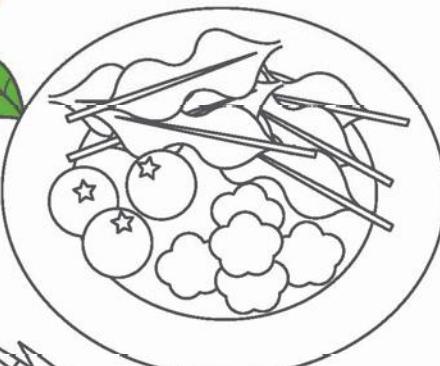
いろをぬってみましょう。



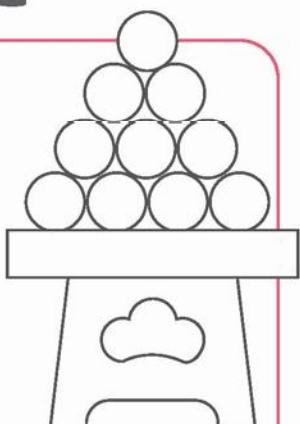
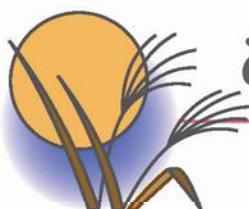
はる



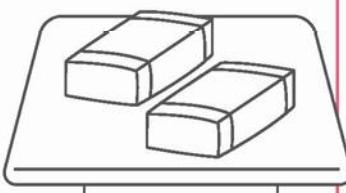
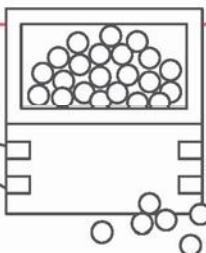
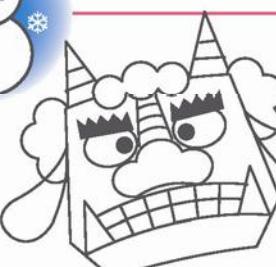
なつ



あき



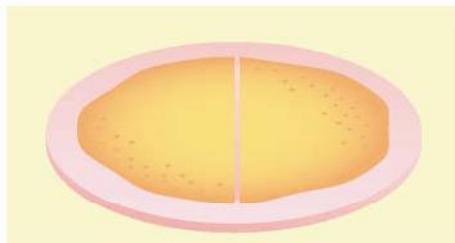
ふゆ



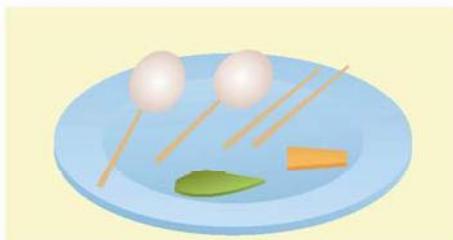
ごはん ひなにんぎょうをつくってみよう

ざいりょう (1セット分)

- | | | | | | |
|------|-----|---------|-----|------|-----|
| ごはん | 80g | ようじ | 4ほん | たまご | 1こ |
| きぬさや | 1ぽん | うずらのたまご | 2こ | にんじん | すこし |



①ごはんでおむすびをふたつつくる。 ②たまごやきをいちまいやき、はんぶんにくる。



③うずらのたまごにようじをさす。
いんげんとにんじんをゆでておく。

④おむすびにたまごやきのきものを
きせてようじでとめる。うずらの
たまごのあたまをさしてかざりを
つけ、できあがり。



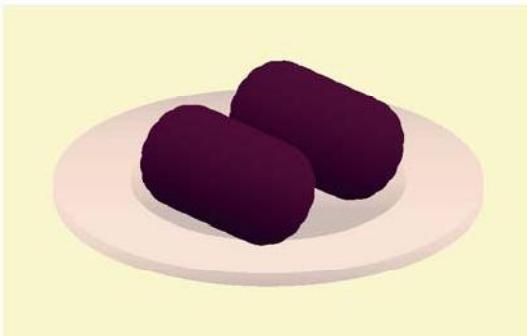
「ひなまつり」や「6ねんせいありがとうのかい」に、
みんなでつくるとたのしいね。おうちでもつくってみよう。

伝言板

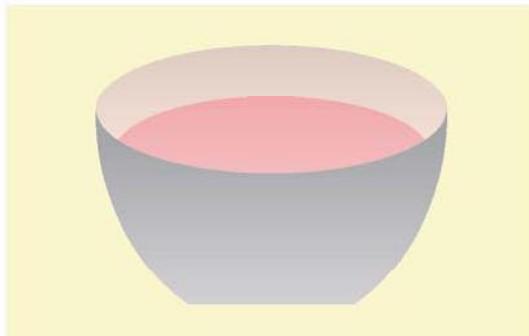
…おうちの方へ…

日本は四季のはっきりした国であり、四季折々に、伝統的な行事や地域独特の行事が行われてきました。「行事と食」は深く結びついています。行事食の経験は、季節を感じ、故郷を思うなど感性を豊かに育むことにもつながります。簡単な調理を楽しみながら、各種行事のはじまりや昔の様子などを話して聞かせることも、意義あることだと思います。

はるのおかし さくらもちをつくってみよう



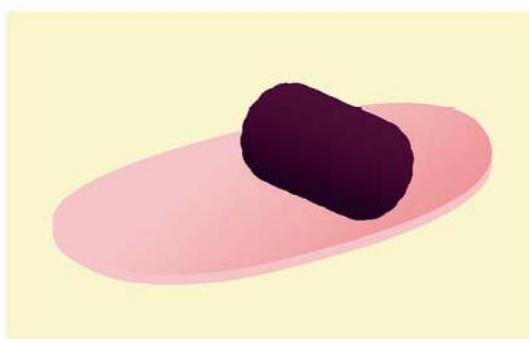
①あんをたわらのかたちにまるめる



②あんのざいりょうをまぜる



③ながいまるのかたちにのばしてやくホットプレートがいいよ



④あんをかわでつつむ



⑤できあがり

「はるをよぶパーティー」や、「6ねんせいありがとうのかい」などにつくるとたのしいね。

ざいりょう (4~6こ)

しらたまご	7g
みず	カップ4分の3
こむぎこ	80g
しょくべに	すこし
あん	350g
さくらのはのしおづけ	
サラダあぶら	すこし

*桜の葉の塩漬けは、和菓子屋さんでも、購入できますが、5月に柔らかい桜の葉を摘んで塩漬けにしておくと、香りの良いものになります。